

**あまり人がしていないことを  
したいから、溶接を選択。  
溶接は奥が深い。ひとつずつで  
きるようになると、おもしろい。**



平成30年6月に溶接技術科を修了し、7月から圧力容器等を製造する会社に勤務されるK・U様（30代・女性）に、職業訓練の受講や就職活動についてお話を伺いました。前職は一般事務で、当センターの託児サービスも利用しながら、6ヶ月間受講されました。

◇溶接技術科を選択したのは？

- － たまたま、女性が溶接の職業訓練を受講しているニュースを見ました。託児サービスもあり、子供を預けて学べ、就職にもつながる、これはいいなと思いました。父の影響もあると思います。父は土木の仕事をしています。現場で働く父の姿を見て、カッコいいと思っていました。私は土木も溶接も3Kだとは思いません。仕事をして汚れるのもカッコいいし、安全のルールを守れば危険ではありません。

◇溶接技術科は女性が少ない科ですが。

- － 前職は自動車販売の会社で男性が多かったので、男性が多くても抵抗はありません。職業訓練で一緒だった男性は、みなさん、やさしかったです。私は、あまり人がしていないことをしたいと思っています。溶接をする女性は少ないので、私にとっては魅力がありました。

◇受講に関してご家族は？

- － 受講が決定したときに夫に言いました。自分が決めて自分がすることだし、何か言われたからといって自分の気持ちが変わる訳ではないので、事前に相談はしていません。夫は、「気をつけろよ」と言ってくれました。

◇受講していかがですか？

- － 溶接技術科を受講する前は、溶接はとにかくくっつけるというイメージしか持っていませんでした。実際に溶接をすると、奥が深く、難しいです。材料によって、電流・電圧、トーチの角度が異なり、溶接の姿勢もいろいろあって、奥が深いと思いました。ひとつずつできるようになっていくと、おもしろいと感じるようになりました。ビードがきれいにひけたときは、満足感が得られました。2才の子がいるので、家では、自分のペースで集中して何かをするという時間がありません。溶接をしているときは作業に集中できるので、充実感があります。ある人に「本気で溶接をするのか」と言われたときは意欲が萎えましたが、嫌にな

ったからやめるということはしたくない、自分に負けたくないと思い、踏みとどまりました。

◇お子さんは初めての保育所？

- － はい、初めてです。3月までポリテクセンターの託児サービスを利用しました。3ヶ月間、毎日泣きっぱなしでした。この子にも、これからの人生、たくさんの試練が待ち受けている、これも試練のひとつだと心を鬼にし、保育所に預けました。寂しい思いをさせて、後ろ髪をひかれる気持ちもありました。4月から近所の認可保育園に預け、子供も慣れたのか、友達ができたからなのか、喜んで通っています。

◇就職後のお仕事は？

- － 圧力容器・タンク・熱交換器等の製造・検査・据付です。くわしい仕事内容は、まだ聞いていません。

◇指名求人（※）でしたか？

- － はい。指名求人をいただいたときは、圧力容器は精度が要求されるし、高度な技術が必要なので、難しいかもしれないと思いました。でも、自宅から30分以内で通勤できるのは、家庭や育児との両立からすると魅力だし、難しいからこそ、ここでしっかりと仕事をすれば、溶接の技術が向上すると思い、応募しました。溶接の腕が上がって、できることが増えればうれしいし、仕事も任せてもらえるので、やりがいがあると考えました。

※希望職種など求職者の情報を事業所に提供し、受講者を指定してご提供いただく求人です。

◇就職にあたって不安なことはありませんでしたか？

- － 2才の子がいるので、病気などで長期に休まなければならないときに、勤務の面で配慮していただけるのか、不安がありました。面接官から、「そのときはそのとき。どこも人手不足で、従業員を確保するのが困難な時代になった。人材を確保するには、会社も社員の働きやすい環境をつくらないといけない。」と言われ、“ここなら私を受け入れてもらえる、頑張れる”と思いました。

◇面接では、現場作業に従事している女性社員の方がいらっしゃるということで、面接官の方が心配されたようですが。

- － 女性があまりしていないから溶接を選択したし、女性ということで甘える気持ちもなかったし、そんな気持ちがあったらそもそも溶接技術科を受講していなかったと思うので、面接官から訊かれたときは、正直なところ驚きました。溶接をする、ここで働く、そういう覚悟があるのかを面接官から問われていると思いました。

◇就職活動中の方や職業訓練の受講を検討されている方にメッセージをお願いします。

- － 自分が決めたことを最後までやりとげることが大事。自分を信じるが一番だと思います。自分を信じて、信じて、信じて、です。

=担当就職支援アドバイザーから=

入所時から目がキラキラしていらっしゃいました。モノづくりに携わりたい！溶接技術を高めたい！という意欲がこちらにも強く伝わってきました。実際、訓練には、高い向上心で臨まれ、知識や技術を習得していかれたようです。また、溶接技術科は男性がほとんどの訓練科ですが、持ち前の明るさとコミュニケーション力の高さで、他の訓練生ともより良い関係を築かれているようでした。就職活動にも前向きに取り組まれ、怯むことなく希望職にチャレンジされました。彼女の意欲や人柄が事業所に伝わり、採用となったことは、私も本当に嬉しく思いました。彼女が目をキラキラさせて、技術を高めていきたい！と向上心を持って仕事に向かう姿、職場の方々と笑顔で話す姿が想像できます。家庭と仕事との両立は大変かもしれませんが、彼女なら、それぞれにプラスになるように取り組めるのではないかと思います。身体に気を付けて充実した日々を過ごして頂きたいと願います。

(取材後記)

1ヶ月目、「できなくて悔しい」とおっしゃっていたKさんが、今も印象に残っています。「人がしていないことをしたい」「自分に負けたくない」と力強く語られました。いろいろ葛藤しながら、この6ヶ月間を過ごされたようにお見受けしました。細身のKさんのどこにこんなパワーがあるのかと感心させられました。持ち前の芯の強さを発揮して、Kさんなら何があってもくじけず、公私とも充実した人生を送られることと信じております。

<2018年6月>